

開講学科	社会環境工学科		前橋工科大学 シラバス			
科目名	社会環境工学概論	標準対象年次	選択/必修		科目コード	
		1年次	必修		13000201	
担当教員	社会環境工学科全教員	単位数	学期	曜日	時限	
		2単位	前期	木曜日	1時限	
授業の教育目的・目標	(1) 社会基盤工学・環境工学が社会において果たす役割や社会に及ぼす影響について認識できる。 (2) 技術者倫理の重要性を認識し、技術者倫理問題を考えるための基礎知識をもつ。 (3) 社会環境工学科で学ぶ内容の全体像を把握する。					
学科の学習・教育目標との関係	(1-a) 地球に生じる種々の現象と人類発展との調和について考えることができる。 (1-b) 社会基盤工学や環境工学が社会において果たす役割や建設工学が社会に及ぼす影響について認識できる。 (1-c) 条件や立場の違いによって判断が変わる可能性のあることを知っている。					
キーワード	技術者倫理、専門科目の内容					
授業の概要	“社会基盤・環境工学”が社会において果たす役割や社会に及ぼす影響について認識できるようにするための授業である。社会との関係を論ずるためには、技術者倫理問題を取り扱う必要がある。そこで、技術者倫理問題を考えるための基礎知識について講義する。また、本学科では、社会基盤工学系、環境工学系の2つの系をベースに教育を行っているので、各系における専門科目の内容に関する概要をそれぞれの担当教員が講義する。					
授業の計画	第1回： 技術者倫理① - 社会環境工学科で学ぶこと（土倉） 第2回： 技術者倫理② - 土木の原点は何か（土倉） 第3回： 技術者倫理③ - 技術者の仕事の特徴から技術者倫理問題を考える（土倉） 第4回： 技術者倫理④ - 水俣病の認定における技術者の対応（土倉） 第5回： 技術者倫理⑤ - 第1～4回の内容に関する試験（土倉） 第6回： 社会環境工学科における専門科目の内容説明①（岡野） 第7回： 社会環境工学科における専門科目の内容説明②（谷口） 第8回： 社会環境工学科における専門科目の内容説明③（佐川） 第9回： 社会環境工学科における専門科目の内容説明④（舌間） 第10回： 社会環境工学科における専門科目の内容説明⑤（森） 第11回： 社会環境工学科における専門科目の内容説明⑥（森田） 第12回： 社会環境工学科における専門科目の内容説明⑦（小林） 第13回： 社会環境工学科における専門科目の内容説明⑧（梅津） 第14回： 社会環境工学科における専門科目の内容説明⑨（平川） 第15回： 社会環境工学科における専門科目の内容説明⑩（田中）					
受講条件・関連科目	社会環境工学科の専門科目					
授業方法	講義					
テキスト・参考書	学科作成の冊子、「誇り高い技術者になろう [第2版]」黒田光太郎ほか、名古屋大学出版会。					
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回～第5回の内容に関する期末試験と、第6回～第15回の内容に関するレポートで評価する。 ・期末試験・レポートとも、100点満点で60点以上を合格とする。 ・両者が合格の場合のみ合格とする。 					
履修上の注意	レポートは必ず提出してください。					